

平成29年度 「こども未来会議室」 報告書

船橋市



もくじ

はじめに	1
概要	1
市民団体の紹介	4
提案と市の回答	5

1「道路環境を改善します！」	5
2「障害者に優しい街にします！」	6
3「高齢者に優しい街にします！」	7
4「魅力のある公園にします！」	7
5「外国との交流を深め、外国人観光客を増やします！」	8
6「公共施設を充実させます！」	8
7「安全、安心な街にします！」	9
8「船橋の伝統、文化をPRします！」	9
9「イベントを開催します！」	10
10「地元を有名にします！」	10
11「子育てしやすい街にします！」	11
12「ボール使用可能な施設を増やします！」	11
13「ネット環境を充実させます！」	11

Check it out!	12
---------------	----

はじめに



「こども未来会議室」は、今年度で4回目を迎えました。市内の中学2年生を対象として、夏休み期間中、全4回にわたり、日頃から本市のまちづくりに深く関わっている市民団体と連携して「こども未来会議室」を開催することができました。

代表として参加してくれた皆さんからは、中学生ならではの柔軟な発想から様々な提案をいただきました。また、地元愛に満ちた提案もたくさんいただきました。

私は、この「こども未来会議室」を通して、将来を背負って立つ皆さんが、船橋のことを真剣に考えて話し合いをしてくれたことこそ、何より貴重な財産になると確信していますし、だからこそ皆さんからの提案を大切にしていきたいと思っています。

皆さんからいただいた素晴らしい提案に対して、市としてどのようなことが実現できるのか、関係部局と協議を重ねてこの報告書を作成しましたので、中学生の皆さん、ご家族の皆さんにもぜひ読んでいただければ幸いです。

中学生の皆さん素晴らしい提案をありがとう！

船橋市長 松戸 徹

概要

1 名称

「こども未来会議室 ～船橋の未来に“たね”をまこう～」

2 目的・運営

子供たちと市長が船橋の将来を語り合う場「こども未来会議室」を開催しました。これは、船橋市の現状を子供たちに伝え、まちづくりを意識してもらうとともに、将来を見据えた意見交換を行い、市政運営に子供たちの視点を活かしていくことを目的として開催したものです。市若手職員と市内の関係団体（さざんか募金運動推進協議会、船橋商工会議所青年部、船橋法人会青年部会、船橋青年会議所）による「こども未来会議室プロジェクトチーム」を立ち上げ、企画・運営をしました。

3 対象及び人数

対象：市内28中学校の2年生（市立27校、私立1校）

人数：各校2名

4 事前授業

中学校の授業では、「こども未来会議室」に参加する準備としてすべての参加校で「事前授業」が行われました。

この「事前授業」では、同会議室のテーマ【「私たちが市長になった



八木が谷中学校の事前授業の様子

ら〇〇します！」～魅力あるまち船橋へ～】について話し合いが行われました。

全員が参加することによって、色々な意見がでましたし、また、一人ひとりが船橋市民であることを自覚して、地域の発展にかかわる意欲を持ってもらうことができたと思います。

この「事前授業」でまとめられた提案は、「こども未来会議室」に参加する代表生徒に託され、市長にどのようにプレゼンテーションするか検討がされました。

5 実施内容

・第1部 テーマに沿った意見発表 【第1会議室】

【「私たちが市長になったら〇〇します！」～魅力あるまち船橋へ～】というテーマについて、各学校で話し合った結果を代表生徒から直接市長に向けて発表がありました。それぞれの学校では、発表に工夫をこらし、プロジェクターを使用したり、分かりやすい資料をホワイトボードに貼ったりして、緊張しながらも、笑顔いっぱい元気な発表してくれました。

「伝統文化を広く発信します」、「隠スポ（隠れスポット）100選マップをつくって船橋の魅力をアピールします」といった文化や魅力をPRする提案が多々ありました。また、「安心して住みやすいまちにします（道路や街灯）」という提案が今年も多く聞かれました。「飯山満の読み方正答率 100%を目指します」といった地元愛に溢れる意見も聞かれ、さまざまな提案が市長に伝えられました。発表後は各学校から出た提案を振り返り、市民団体の方々と交えて「まちづくり」について活発な意見交換を行いました。

市長は提案の一つひとつに対し、市の現状と今後の取り組みなどを丁寧に伝え、「皆さんが提案してくれたことについては、全部市でできるか、できないかを検討して、可能な限りやれるものはやっていこうと思う。」と述べました。

生徒の皆さんが発表した提案と市の回答については、5ページ以降に記載しています。

・第2部 市長室見学ツアー 【市長室】

最初に市長から各中学校の代表生徒の皆さんへ、市長室全体の案内と市長室でどのような仕事を行っているか、また、市のさまざまなことを決定する「決裁」に関する説明などがありました。

その後、一人ずつ順番に市長の椅子に座り、市長や「目利き番頭 船えもん」と一緒に記念写真を撮影しました。

代表生徒の皆さんは、市長の説明に熱心に耳を傾け、市職員でも滅多に入ることが出来ない市長室に興味津々の様子でした。



湊中学校の事前授業の様子



七林中学校の事前授業の様子



趣向を凝らした意見発表



市長室見学ツアーの様子

6 開催日時及びブロック割

平成29年度は、他地域の生徒と意見交換ができるよう、地域を混合し4回開催として実施しました。

<開催日時及びブロック割>

■開催時間13:30～16:30

■場所：市役所9階 第1会議室

開催日	第1回	第2回	第3回	第4回
	7月28日(金)	8月2日(水)	8月4日(金)	8月7日(月)
参加校 各校2名	湊中	海神中	宮本中	船橋中
	葛飾中	行田中	旭中	若松中
	法田中	飯山満中	高根中	二宮中
	御滝中	三田中	八木が谷中	七林中
	芝山中	古和釜中	金杉台中	三山中
	習志野台中	大穴中	前原中	高根台中
	豊富中	小室中	(私)千葉日大第一中	坪井中
学校数：合計28校	7	7	7	7
生徒数：合計56名	14	14	14	14



第1回開催 集合写真



第2回開催 集合写真



第3回開催 集合写真



第4回開催 集合写真

市民団体の紹介

企画・運営から携わっていただいた市民団体を紹介します！

(1) さざんか募金運動推進協議会

さざんか募金運動推進協議会は、各種チャリティー事業を展開したり、「育てよう美しい心」をテーマに、青少年の健全育成を推進する公益信託制度「コミュニティ・ファンド（地域基金）＝さざんかさっちゃん教育基金」の事業も行っています。船橋駅コンコースのＪＲ線と東武アーバンパークラインの間にシンボル像「さっちゃん像」があり、皆さんの「待ち合わせスポット」として、活用されています。ちなみに、この像は募金箱でもあります。



船橋市民のシンボル
「さざんかさっちゃん」

(2) 船橋商工会議所 青年部

船橋商工会議所青年部は、次世代の地域経済を担う後継者の相互研鑽（けんさん）の場として、また、青年経済人として資質向上と会員相互の交流を通じ、己（おのれ）の企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としています。

活動の中心は、あくまでも地域経済をリードする若き企業経営者の勉強の場であり、綱領・指針に則り、企業の発展と同時に、地域経済の発展を図る商工会議所活動の一翼を担うという理念のもとに活動しています。



(3) 船橋法人会 青年部会

会社を経営するには切っても切り離せないのが納税（税金）です。法人会というのは、全国に１００万社の会員企業があり、「税」をキーワードに健全な会社経営、経営者育成を目指し、研修会や専門的勉強会、親睦会など各所管税務署や関係諸団体の協力を得て、様々な事業やイベントを開催しています。

その中でも、青年部会は５０歳までの経営者や次世代の企業経営者になる若者に更なるステップアップや仲間を増やし、友情を育むことを目的に掲げて地域の発展と企業の繁栄を目指し、活動している団体です。



(4) 船橋青年会議所

青年会議所とは２０歳から４０歳までの青年が、明るい豊かな社会の実現を理想とし「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、よりよい社会づくりをめざし、青少年の健全育成、まちづくり、指導力を持ったリーダー育成を柱に社会的課題に積極的に取り組んでいます。世界１２５か国１７万人を超える会員がいる国際的な組織でもあり、日本では全国４７都道府県の６９７地域に、約３６，０００人の会員がいます。卒業したＯＢには世界で２５０万人以上、元アメリカ大統領のビル・クリントン氏やマイクロソフト創業者のビル・ゲイツ氏、日本では元内閣総理大臣の小泉純一郎氏も所属していました。

平成２９年度は、ふなば SEA フェスタ～３Ｒで海を思いやる～を、船橋漁港で開催致しました。船橋青年会議所では次代の社会の担い手、推進力として明るい豊かなまちづくりの実現のために、市民運動の先頭に立って活動しています。



提案と市の回答

1. 道路環境を改善します！

「安全・安心な道路にします」という提案がありました。

道路に関しては、毎年たくさんの生徒から提案をいただきます。これは、通学や日常生活で毎日使うのでそれだけ目にとまりやすく関心が強いことの表れだと思います。道路は確かに狭いところが多いのですが、大きな理由としては、『第2次世界大戦時にほとんど爆弾を落とされなかったために、昔のままの道が残ってその周りに家がたくさん建ち並び、道路がなかなか直せなくなってしまったこと。』、それと『毎年2万人ずつ人口が増加した昭和40年代に、学校等の施設整備が優先されたため、道路整備になかなかお金を使うことが出来なかったこと。』が挙げられます。道路を広げるためには、土地所有者の方々の協力を得て用地を取得する必要があります。土地所有者の協力を得るためには、事業の必要性などを個別に説明・交渉していくため、道路が広くなるまでには、とても時間がかかりますので、まずは、少しでも安全が確保できるよう危険な箇所から道路を整備していきます。

現在、都市計画道路事業として、6路線、10箇所で整備を進めています。その他にも、一般道路整備事業として歩行者と車を分離する歩道の新設や車道の拡幅を進めています。

道路の修繕については現地調査を行い順次行っていますので、危険な箇所があれば教えてください。また、ガードレールの新設については、道路に隣接する土地利用状況等を調査し、可能であればガードレールの設置を進めていきます。



新規開通した船橋駅の都市計画道路

「自転車レーンをつくります」という提案がありました。

最近少しずついろいろな場所で見かけるようになってきた自転車レーンですが、平成26年度に作成した「船橋市自転車走行環境整備計画」では、自転車の走行する箇所のカラー舗装化を6.2km行う計画になっています。

現在の進捗具合は、平成29年3月末時点で10.13kmの整備となっており、今後も計画に基づき自転車レーンを整備していきます。



自転車レーン

「街灯を増やします、街灯にソーラーパネル・人感センサーを付けます」という提案がありました。

過去のこども未来会議室で「船橋のまちを明るくしてほしい」との提案を受けて設置した「道路照明灯設置に関するプロジェクトチーム」にて、「船橋市道路照明灯及び道路街路灯設置基準」が作成されました。市内の主要な道路や公共施設に面した道路等は、道路管理者により道路街路灯を設置していますので、危険や不安とを感じる箇所がありましたら、市に相談してください。

また、地域の防犯灯については、その設置や維持管理は、地域の状況をよく知っている町会・自治会が行っていて、市では補助金制度を設けてその活動を支援しています。

「街灯にソーラーパネル」や「人感センサーを付ける」という提案については、省エネルギーや犯罪防止及び通行する方の安心感という効果も期待されることから、技術的に可能であるか検討していきます。

2. 障害者に優しい街にします！

「障害者への理解を深めます」という提案がありました。

市内の小中学校の道徳や総合的な学習の時間において、各学校の実態にあわせて障害者への理解を深める授業を実施しています。

また、身体障害者福祉センターで実施している市民を対象とした福祉体験講座、小学生を対象とした福祉体験講座で、障害者等による講話や障害体験等を通して障害者への理解と協力について学ぶ場を設けています。今後も日程や内容等を考えながら実施していく予定です。



福祉体験講座

「補助犬への理解を深めます」という提案がありました。

市では、補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）の説明を市ホームページに掲載し、市民及び事業者の方々に補助犬に関する意識の啓発に努めています。

市の施設については補助犬ステッカーの掲示状況を改めて確認し、掲示の無い施設へステッカーを配付し、広報ふなばし12月1日号の障害者週間特集で啓発記事を掲載しました。

また、船橋商工会議所が会員企業へ向けて発行している機関誌「ハンドシェイク」へも啓発記事を掲載し、民間企業に対する周知も行うなど啓発活動に力を入れています。今後もホームページの活用や商工会議所との連携により、周知・啓発活動に努めていきます。



補助犬ステッカー

「公共施設に立体・音声地図を付けます」という提案がありました。

駅から公共施設への歩行者用案内図等の基準を定めた公共サインガイドラインでは、視覚障害者への対応として「触知案内図」の設置について定めています。

「触知案内図」は、案内できる範囲が限られているため、駅前広場内において駅からタクシー乗り場などへ点字ブロックと合わせて誘導するもので、現在、JR船橋駅前と新京成線北習志野駅に設置しています。

今後は、各公共施設の管理者が必要に応じて設置していくことになります。



触知案内図

3. 高齢者に優しい街にします！

「学校をリフォームして、デイサービスを作ります」という提案がありました。

学校の余裕教室を活用したデイサービスの施設としては、平成10年6月1日開設の「三山老人デイサービスセンター」があり、三山小学校の校舎1階にて運営されています。

現在、市では、少子高齢化の時代を迎え、学校だけでなくすべての公共施設についてそのままの形で維持していくのか、地域の特性を考えながら他の施設との複合化や、統合、転用など何が望ましいのかを考えているので、条件等があれば実現可能だと思います。



三山老人デイサービスセンター

「子どもと高齢者のふれあい施設を作ります」という提案がありました。

市内在住の概ね60歳以上の高齢者が相互に親睦を深めるためや地域交流を目的として三山小学校内に「ふれあいの部屋」を設置しています。今後空き教室を利用できる学校があり、ニーズがあれば新たな設置を考えていきます。

また、児童ホームでは公民館事業と連携し、ハッピーサタデー事業において、高齢者との交流を行っており、更なる充実を図っていききたいと思います。



ふれあいの部屋

4. 魅力のある公園にします！

「梨公園をつくります」という提案がありました。

船橋の特産である梨を使って公園をつくるという提案は素晴らしいと思います。新しく公園をつくるためには用地の確保や地元との話し合いをしたり、調整にとっても時間がかかります。提案のあった「高根川周辺の自然を活かした公園整備」については、市の将来像における貴重な意見として、公園の整備計画を進めていく中で、考えていきます。



最近整備した公園

「グリーンカーテンを公園に作ります」という提案がありました。

市内緑化のためにグリーンカーテンは市役所や学校など色々なところで実施しています。公園については防犯や施設管理の点から実施をしていませんが、どのようにすれば実施できるかを考え、施設管理や安全の確保が出来るのであれば、実施する方向で考えています。



学校でのグリーンカーテン

5. 外国との交流を深め、外国人観光客を増やします！

「船橋市を訪れる外国人観光客を増やします」という提案がありました。

「ホームステイを増やして海外との交流を深めます」という提案がありました。

外国人観光客が市の名所を巡ることができるようにするため、英語版の観光マップの作成を予定しています。

また、姉妹・友好都市（アメリカ・ヘイワード市、デンマーク・オーデンセ市、中国・西安市）等の学生たちが船橋市にいらっしゃる際は、すでにホームステイで対応しています。募集は広報ふなばしやホームページで行っているの、皆さんも興味があれば是非応募してみてください。



姉妹・友好都市との交流

6. 公共施設を充実させます！

「本屋と図書館が合体したような施設を作ります」という提案がありました。

船橋市図書館では、中高生向けの図書コーナーを設置し、市民の皆さんに図書を楽しんでいただき、皆さんの「なぜ」に応えられる図書館作りを目指しています。

船橋市図書館では、現在のところ本屋との合体は予定していませんが、今後も市民ニーズに応えられるようなソフト面の充実を図り、市民の皆様にご喜ばれる図書館を目指していきます。



西図書館

「多目的に活用できる図書館を作ります」という提案がありました。

各図書館では、施設の状況に応じて学習スペースやウォーターサーバーを設置しており、Wi-Fi も利用できます。談話室や託児所の設置予定はありませんが、託児については事業の内容によって対応しています。また、テスト勉強で使うような参考書や問題集は収集しないこととしていますが、図書館では、どのような本を利用したら調べものに役立つかといった相談なども受け付けています。読んだり調べたりしながら図書館をどんどん利用してください。



学習スペース

「大規模なイベントホールを作ります」という提案がありました。

市内には、スポーツイベントを楽しめる施設として「船橋市総合体育館（船橋アリーナ）」が、また音楽などを楽しめるコンサートホールとして「船橋市民文化ホール」があります。

今はこの2つの施設で、市民の皆さんにさまざまなイベントを楽しんでもらっていますが、どちらも老朽化してきており、今後、みなさんに引き続き利用してもらうためには、大きな改修が必要となってくることが考えられます。新たに大規模なイベントホールをつくるということは、これらの2つの改修費用とは別で、新たな費用がかかることになります。このため、施設をどこに建てるのか、また、費用

の面でどんな工夫ができるのか、そして今の2つの施設とあわせてどのぐらいの人に使ってもらえるのかなど、色々な面から慎重に考えていく必要があります。

7. 安全、安心な街にします！

「犯罪を更に減らします」という提案がありました。

市では、町会・自治会による自主防犯パトロール等の推進や市民安全パトロールカーによる市内巡回を実施しています。また、「ふなばし安全・安心メール」で不審者情報や犯罪情報などの「くらしの安全・安心情報」等を配信しています。

また、犯罪や非行をした人に対しての支援として、再び加害者にならないよう気持ちのサポートや就職先の相談等、社会復帰の支援を行っていくことは重要なことだと考えており、そのような役割を担っている方々として法務大臣から委嘱された無償ボランティアである「保護司」がいます。全国に約4万8千人おり、船橋市内では70人が活動しています。

市では保護司の集まりである保護司会に対して補助金を交付して、その活動を支援しています。



防犯パトロール

8. 船橋の伝統、文化をPRします！

「海苔の養殖とPRに力を入れます」という提案がありました。

海苔の養殖には加工用機械の購入や種苗購入、網の保管用冷凍庫の使用費などに補助をしており、また、後継者対策として新規漁業者への漁具等の購入費や研修時の費用の補助も行っています。

PR活動は海苔すき体験や漁場見学イベントを実施し、漁協直営の直売所三番瀬「みなとや」での販売や※「本場の本物」というブランド認定を受けることでPRしています。

※「本場の本物」・・・日本各地の豊かな食文化を守り育てるために設けられた表示基準であり選ばれた食品だけがつけられるマーク



船橋の海苔

「地産地消で船橋を盛り上げます」という提案がありました。

「船橋市の伝統文化（ばか面）をより多くの人に伝えます」という提案がありました。

農水産祭等により、市内産農水産物の即売などを実施しています。今後も市民と生産者の交流の場を設定し、農水産業への理解や生産者の意識向上を図っていきます。

ばか面踊りを含めた船橋の伝統芸能をホームページや展示等を通じアピールする機会を増やしていきます。



ばか面踊り

9. イベントを開催します！

「レクリエーションを含んだスポーツイベントを開催します」という提案がありました。

レクの要素を含んだスポーツイベントの開催ですが、現在、「スポーツと健康を推進する会」が、10月に運動公園を使用して「スポーツの祭典」を行っています。

陸上競技場では、市船サッカー部によるサッカー教室や竹馬、体育館ではニュースポーツ等が体験できるイベントを開催しています。

現在、「スポーツの祭典」のPRは、近隣の小学校にチラシを配布していますが、今後、市内の小中学校全校に配布するなど、より一層PRに努めていきます。



スポーツの祭典

10. 地元に有名にします！

「飯山満の読み方正答率100%を目指します」という提案がありました。

流しそうめんやイベントを行い飯山満を有名にするという地元に根付いた提案です。

市内の商店会では、それぞれ地域の賑わいにつながる活動を行っており、例えば芝山団地商店会では、地域の子供が描いた絵をかぶせたランタンをお店に飾る「ランタン飾り」を実施しています。

今回提案のあった“はさま”をPRする「はさまニンジンナイト」は、面白い取り組みだと思いますので、商店会にこのような提案があったことを伝えます。

また、商店会等がNPO（民間非営利組織）や小学校・中学校などの地域団体等と連携し、地域課題解決のために行うコミュニティ形成のための施設整備や、ハロウィン仮装パレード、夏祭り、クリスマスイルミネーションなど、賑わいの創出につながる事業に対して市から補助金を交付しています。

今回、ご提案頂きました数々のイベントを「自分の暮らす町名を広く知らしめるため」に地域の自主的な活動の一環で開催する方法も考えられると思います。

市では、このような地域の自主的な活動やイベントを開催する際には、町会・自治会が中心になって行うことが多いことから、市では、町会・自治会に交付金を交付して、その活動を助成・支援しています。



ランタン飾り

1 1. 子育てしやすい街にします！

「保育園の待機児童を減らします」という提案がありました。

市では「待機児童解消緊急アクションプラン」という計画に基づき、保育施設を整備するなど受け入れ枠を拡大するとともに、各園の職員の給料の引き上げや就職相談会の開催等、市内の保育園で働く保育士を確保するための施策を進めてきました。今後も、新しい保育園を増やすだけでなく、今ある保育園の受け入れ枠を増やす等、待機児童の解消に向け事業を実施していきます。



保育士就職支援パンフレット

1 2. ボール使用可能な施設を増やします！

平成26年度の「こども未来会議室」での提案を受けて、平成28年度より市内5公園で試行事業を実施しています。事業の中でルールづくりやボール遊びができる公園の要件整理等を行っており、実施可能な公園の候補選定をしています。

また、平成28年度、行田運動広場、高瀬下水処理場上部運動広場（タカスポ）の二つをオープンし、平成30年度には田喜野井に、まちかどスポーツ広場をオープンする予定です。

今後は、色々な種目ができる広場を整備していきます。

なお、市ではミニバスケットボールが盛んなので、バスケットゴールの整備を考えていますが、音の問題もあり、街中にバスケットボールができる運動広場の整備は難しい面があるので、今後周囲の方に同意が得られるような土地がみつければ考えていきます。



行田運動広場

1 3. ネット環境を充実させます！

平成28年3月にJR船橋駅南口周辺にWi-Fiの整備を行いましたので、是非皆さんにもご利用してもらいたと思います。JR船橋駅南口周辺部のさらなる賑わいの創出やまちの活性化を推進するため、「JR船橋駅南口周辺部の回遊性創出に向けた基本構想」を策定し、その施策の一つとして「Wi-Fiの整備」を行っています。今後の拡大に向けては、効果的な方法による整備を考えていきます。



Funabashi Free Wi-Fi

Check it out!

平成28年度「こども未来会議室」で提案した「梨フェスティバル」が実現しました！

平成28年度「こども未来会議室」で八木が谷中学校の代表生徒から市長に「梨フェスティバル」の開催を提案しました。提案に対して市長から「梨のPRの方法として、発想が面白く、十分できることなので検討してみます」と回答しました。

そして、平成29年8月29日に「なし味自慢コンテスト」の名称を変更して拡充された市制施行80周年記念「なしフェスティバル」が盛大に開催され沢山のお客様がいらっしゃいました！

会場では『なしフェスティバル』を提案した八木が谷中学校の2人の代表生徒が、『1日船橋のなし大使』として市長から任命を受け、船橋果樹園芸組合と市川農業協同組合から市に梨の寄附をいただくお手伝いをするなど、『なしフェスティバル』を大いに盛り上げました！

なし大使の2人のもとに、お友達も応援にかけつけてくれました！



様々な素晴らしい提案を元気よく発表してくれてありがとうございました！

皆さんの提案を受けて、たくさんの新しい発見がありました。少しずつではありますが、「こども未来会議室」で提案を受けて実現した事業も出てきています。

皆さんからいただいた提案をもとに、船橋市が住みよいまちになるよう、全力で取り組んでいきます！

「こども未来会議室」プロジェクトチーム





平成29年度「こども未来会議室」報告書

編集：「こども未来会議室」プロジェクト

事務局：船橋市役所市長公室

市民の声を聞く課

発行年月日：平成30年3月